



尾形的

# 1都1道2府43県〇一期一景

第八章  
みち

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata



いつものことだが「どこか行こう!」と唐突に誘う夫。“どこか”と言ってはいるが、夫の誘いは大概、提案ではなく、決定なのである。その日もそうだった。そそくさと用意を始める夫を眺めながら、(暇だし、たまには付き合うか)と出掛けることにした。

「確かここ…そうそう懐かし〜」。

完璧に私の存在など忘れ、独り言を言う度にテンションをあげてゆく夫。私は付き合いきれず、車の振動に身を任せて居眠りを決め込んだ。程なく「着いたよ」の声で目を覚ます。越谷市宮本町。閑静な住宅街だ。夫は、幼少期を過ごしたこの場所に特別な思いがあり、よく話題にしていた。

「隙間」と呼べそうな路地へと入る。その奥に、夫は住んでいた。慣れた足取りで奥へと進んでいく。路地は旧道沿いの商店街と繋がっている。写真家への道のりは、父から借りたカメラを手に、写真を撮っては毎日のように路地を抜け、商店街の写真屋へと現像に行ったこの道が始まりだった。

「この石畳、欠けてる所とか昔のままだよ」。

懐かしい記憶を、一つ一つ呼び戻していく夫が、不意に立ち止まり、何かを待つかのように静かにカメラを構えた。時間が止まったと思う程のスローな時間に感じたのは、ファインダーを覗く夫の顔が、見たこともない程、穏やかな顔をしていたせいでろうか…。すべてがああ頃へと繋がり、レンズの向こうに子供の頃の自分を重ねた瞬間、夫は丁寧にシャッターを切った。「ここから始まった自分」に感謝を込めて。

## Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラフィックなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>